

校長室の窓から

「パス&ゴール大作戦」スタート！

神石小学校長 田丸 栄

8名の新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。また、それぞれ1学年ずつ上の学年に進級したみなさん、進級おめでとうございます。本年度は、全校児童44名と教職員18名でのスタートとなりました。今年度のスタートに当たって、みだしにありますように、大作戦シリーズ3年目。今年度は、「パス&ゴール大作戦」について子どもたちに話をしましたので紹介します。

令和6年度キャッチフレーズ

パス&ゴール大作戦

○パス＝「信じて」「まかせる」
○ゴール＝「自己決定」自己表現

思いを「つなぐ」
※自ら行動・表現できるように！
(自己評価・他者評価)

子どもが、「自ら伸びる」ためには、子ども同士の信頼関係・子どもと教職員との信頼関係が土台として必要です。だけれど、自分の考えをもって活動をしようとした時、まず、「やってみて。」「まかせたよ。」「たのむよ。」という信頼されているという安心感があるだけで、様々なことに挑戦できます。そうすることで、一人一人は、自分のよさを発揮することができ、生き生きと活動し続けることにつながります。

また、子どもが、「まかされた」ことについては、自分で考え判断して、最終的には「自己決定する（ゴールする）」ことで、責任をもたせることも必要です。一人一人が「自他のよさ」を知り、「自らの考え」をもって、その考えを自分の言葉で相手にはっきり伝える（表現する）ことで新たな力が生まれることもあります。

さあ、このことは、一つの挑戦でもあります。できるだけ、子どもに「まかせる」という大胆な取組ですが、私たち教職員は、今まで以上に子ども達を信頼して、「まかせる」場面を多くしていきます。「絶対、よい方向に向かう。」と信じて。

そこで、神石小学校では、本年度も「自ら伸びる子・共に生きる子の育成」を学校教育目標とし、高い目標をもち、失敗を恐れず挑戦する子どもを育てるとともに、一人一人が自分の考えをもち、他者と関わり、共によりよく生きようとする事ができるように指導にあたっていきます。そして、今年度も子ども達が「また明日も学校に行きたい。」保護者の方が「行かせたい。」と言っていただくことができる学校をめざし、子ども達・保護者・地域の皆様と共に歩んでまいりたいと思います。保護者・地域の皆様、本年度もご支援ご協力をよろしくお願いいたします。